

GPS搭載 ドライブレコーダーシステム 取扱説明書

Drive Recording System

その瞬間を記録する。



走行中の映像と運転状況を 高画質 [最大130万画素] で記録します。

ドライブレコーダーシステム「DRS1100」とは

- ✓ 自動車のフロントガラスに装着し、走行中の前方映像と運転状態をSDカードに記録する装置です。
- ✓ 記録されたSDカードはパソコンで確認できますので、各種の分析ができます。
- ✓ 本システムのソフトウェアは、SDカードを本体にセットすれば自動的にSDカードにインストールされますので、どなたでも簡単に操作できます。

※SDメモリーカードの装着および取り出しは、電源が入っていないことを確かめてから行ってください。

記録が残る安心感

万が一事故にあった際の記録映像と録音は、証拠映像として事故の迅速な解決に役立てることが出来ます。

安全運転意識の向上

速度・急ブレーキ・急発進等の運転状態が記録されますので、ドライバーの安全運転意識が向上し、事故の減少につながります。

走行状況の確認

GPSを搭載しているので、走行状況(緯度・経度・時間・速度)をパソコンのインターネット上(Googleマップ)で確認できます。

多目的な活用

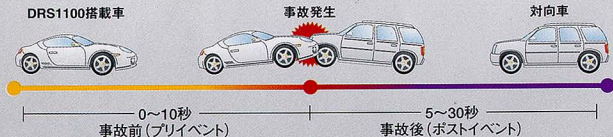
旅先でのドライブ記録や監視用カメラとしても利用できます。

装着が簡単

本体をフロントガラス(運転時の視界を妨げない所)に装着、電源プラグをシガーソケットに差し込むだけの手軽さ。

事故前と事故後の画像を記録!

記録したデータは上書きされないように別ファイルに保存



多彩な機能

①GPS機能

本体内蔵のGPS機能を利用して、緯度・経度・速度・時間などの情報をパソコンのインターネット上 (Googleマップ) で確認できます。

③録画設定

QVGA (320×240 30コマ/秒)、VGA (640×480 30コマ/秒) MEGA (1280×960 8コマ/秒) の3つから選択でき、録画画質、録画コマ数もそれぞれ設定できます。

⑤録画方法の設定

「保存録画」と「常時録画」の何れかを選択して設定ができます。

②3次元衝撃感知センサー

X (前後)・Y (左右)・Z (上下) の各衝撃を、0.1～3Gの範囲で設定が可能です。

④録画保持時間の設定

プリイベント (アクシデント発生前:0～10秒)^{*注} とポストイベント (アクシデント発生後:5～30秒) の録画時間が設定できます。

^{*注}:MEGAの場合は0～5秒

⑥録音機能

音声同時録音が可能です。

■付属品内容 ※付属品をご確認ください。万一、不備がある場合は購入先にお問い合わせください。



本体



SDメモリーカード



吸盤付スタンド
Sタイプ



シガージャックケーブル



ケーブルホルダー

※本取扱説明書内容および付属品内容は予告なしに変更になる場合があります。

各部の名称

カメラレンズ

カメラレンズに汚れ等が、付着しないようにしてください。



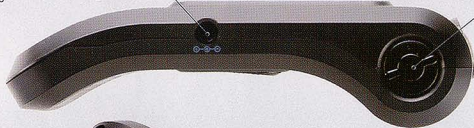
SDメモリーカード挿入口

挿入口にSDメモリーカードを差し込んだ後、電源ケーブルをつないでください。

電源端子

電源端子にシガージャックをつなぐと自動的に電源が入ります。

レンズ角度調整ダイヤル



録画LED (赤)

録画LEDは映像データの保存時に点滅します。

GPS LED (青)

GPSが衛星データを正常に受信時に点灯します。

セーブスイッチ

セーブスイッチを押すと別ファイルに映像を録画して保存します。



設置方法-1

車両前面のガラスに設置時



- ①SDカードをセットする際には、製品とデータの損傷を防ぐために、電源をOFFにしてください。電源がONの状態ではSDカードがセットされていない場合、赤と青のLEDが交互に点滅します。確認したら左図のようにSDメモリーカードを本体にセットし、カバーをしめます。



- ②SDメモリーカードを抜く場合は、電源がOFFになった状態でSDメモリーカードのカバーを開き、SDメモリーカードを押すと自動的に出てきます。



- ③左図のように、スタンドの飛び出た部分が本体の中央の大きな溝に完全に入るようにした後、上に押しつけてしっかりと固定します。



注意事項

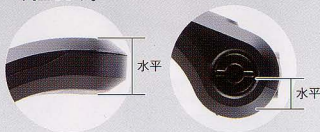
SDメモリーカードは製品に同封されているものをご使用ください。他のSDメモリーカードを使うとエラーの原因になる場合があります。SDメモリーカードを無理にピンセットや爪で引っ張り出すと、傷をつける恐れがありますのでご注意ください。SDメモリーカードはパソコンでフォーマットできます。

設置方法-2

車両前面のガラスに設置時



- ①GPS受信部を水平にすると、受信率がさらに向上します。



- ②本体側面の角度調整ダイヤルを押したままカメラレンズを回して角度を調節します。この際、ダイヤルにある直線目印と路面が水平になるように調整してください。



- ③本体に電源ケーブルを挿入してください。電源ケーブルは、必ず同封のケーブルを使用するようにしてください。



- ④車両のシガージャックに電源ケーブルをつなぎ、車両のキーを回してONにすると、電源が入り、本製品が作動します。REC (赤) とGPSのLED (青) が点灯していることを確認してください。

注意事項

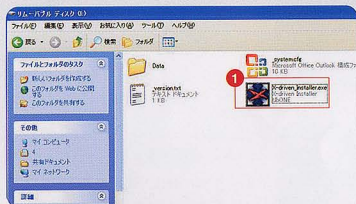
1. ガラス付着型のラジオアンテナは、GPS受信率に影響を及ぼす可能性がありますので、GPS部分と離してお使いください。
2. 作動直後、連続的なビープ音が鳴るまでの2~3分間は、電源をOFFにしないでください。SDメモリーカードをフォーマットし、パソコンにインストールするプログラムをコピーしている途中です。
3. 作動中にSDカードを取り出す場合は、必ず電源をOFFにしてください。
4. GPSの受信は場所によっては、多少の時間差が生じることがあります。
5. 運転や視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。

【参照】自動車検査独立行政法人 審査事務規定4-47,5-47

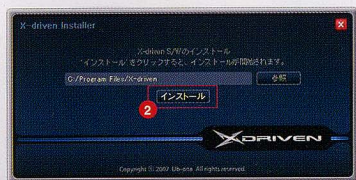
プログラムのインストール方法

インストールの前に

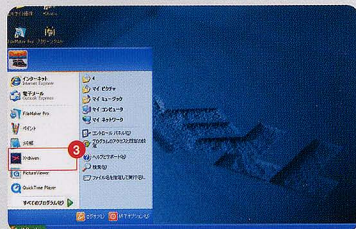
パソコン本体にSDカードスロットはありますか?無い場合はSDカードリーダーをご準備していただきます。カードリーダーにSDカードを挿入し、パソコンのUSBポートに、カードリーダーを挿して認識させてください。



- ①SDメモリーカードにある「X-driven_Installer.exe」ファイルをダブルクリックします。



- ②インストールするフォルダを指定し、真ん中のボタンをクリックします。インストールが終了したら、OKボタンをクリックします。




- ③デスクトップにあるアイコンからスタートメニューのプログラムにあるX-Drivenアイコンをクリックしたら、プログラムが起動します。

プログラムの使用方法



- ①プログラムが起動すると、左のような画面が表示されます。



- ②メモリーカードをパソコンにつないでから  をクリックして、SDメモリーカード内のデータフォルダで _System.mdbファイルを選択してデータを読み込みます。



- ③ファイルを読み込むとファイルリスト(日付、時間、イベント有無)が右上段に並びます。(但し、走行中の映像録画時にGPS受信状態が良くない場合は、正確な時間が表示されません。)

NO	ファイル名	イベント
0001	00000010.u61	無
0002	00000030.u61	無
0003	00000042.u61	ショック
0004	00000050.u61	無
0005	00000060.u61	無
0006	00000110.u61	無
0007	00000122.u61	ショック
0008	00000130.u61	無
0009	00000142.u61	ショック
0010	00000150.u61	無
0011	00000160.u61	無
0012	00000172.u61	ショック
0013	00000180.u61	無
0014	00000190.u61	無
0015	00000202.u61	ショック
0016	00000210.u61	無
0017	00000222.u61	ショック
0018	00000230.u61	無
0019	00000242.u61	無
0020	00000250.u61	無

プログラムの使用方法



④ファイルリストの中で見たいファイルをクリックしたら、右下段の縮小版のウィンドウで最初の画面内容が表示されます。希望するファイルをダブルクリックすると、左上段に映像が表示されます。複数ファイルをシフトキーで設定してから右上段の **[+]** をクリックすれば、見たい映像を連続して見ることができます。



⑤右側には、小さな画面で車両の位置を示す地図(MAP)が同時に表示されます。(この地図機能を利用するには、パソコンをインターネットにつなぐ必要があります。運転中の映像録画時、GPS受信が良くないと、このビューアで地図は表示されません。)

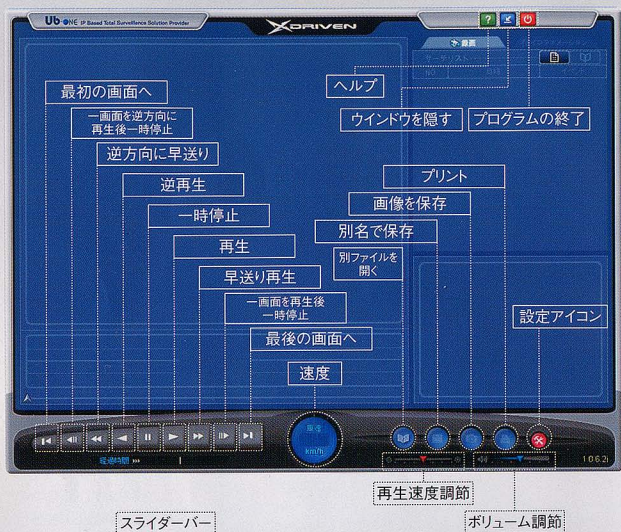
地図上のGPS横の **[+]** をクリックすれば、正確な位置情報を知ることができます。方向キーで移動、拡大、縮小ができます。

[—] を押せばGPS関連情報ウィンドウが閉じます。

左下段のグラフは、イベント発生時の前後、左右、上下方向の衝撃感度を示します。〈前後の動き:X軸〉〈左右の動き:Y軸〉〈上下の動き:Z軸〉

※ 走行中の速度を表します。この部分をマウスでクリックすると速度の単位を変更することができます。km/h⇄mphへの変更が可能です。

設定画面の名称



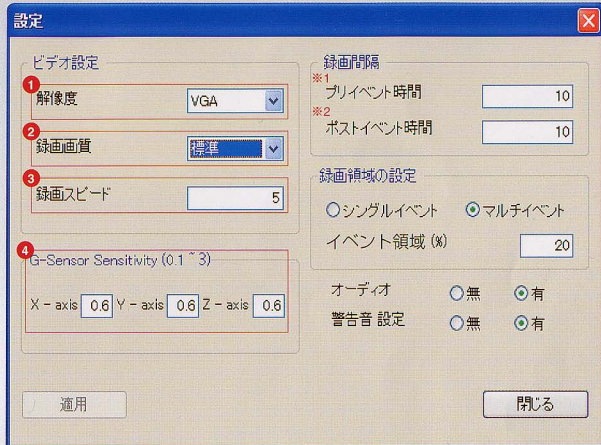
スライダーバーの青色区間は、イベント発生前の録画映像区間を表し、赤色区間はイベント発生後の録画映像区間を表します。

【注意事項】再生速度を基本設定以外に設定時、オーディオは再生されません。

設定の変更

ユーザーは、任意にX-Drivenビューアーの初期設定値を変更することができます。(SDメモリーカードをフォーマットすると、設定値は基本設定値に自動変更されます。) 設定アイコンを押してSDメモリーカードが保存されたフォルダーから_systems.cfgファイルを呼び込みます。

設定画面の説明-1



1 解像度【基本設定値:VGA】

ビデオ設定の解像度について解像度はQVGA・VGA・MEGAの、3段階で選択できます。

低	QVGA (320×240)
中	VGA (640×480)
高	MEGA (1280×960)

3 録画スピード【基本設定値:5】

録画スピード(1秒間当りの録画フレーム数)は解像度の設定により設定できる数値が異なります。

解像度	録画フレーム数
QVGA	1~30
VGA	1~30
MEGA	1~5

※直接数値を入力してください。

※1 プリイベント(アクシデント発生前) ※2 ポストイベント(アクシデント発生後)

2 録画画質【基本設定値:標準】

ビデオ設定の録画画質について録画画質は最低・低・標準・高・最高の5段階で選択できます。

最低	画質が大変低い
低	画質が低い
標準	画質が標準
高	画質が良い
最高	画質が大変良い

4 G-Sensorの設定

0.1~3の範囲で設定できます。設定した数値が高いと、衝撃に対して鈍くなり、イベントが発生してもセンサーが感知できないこともあります。反対に設定した数値が低いと、衝撃に対して敏感になり、軽微なイベントでもセンサーが感知することがあります。

X軸	前後の振動
Y軸	左右の振動
Z軸	上下の振動

設定画面の説明-2

設定
X

ビデオ設定

解像度 VGA

録画画質 標準

録画スピード 5

G-Sensor Sensitivity (0.1 ~ 3)

X-axis 0.6 Y-axis 0.6 Z-axis 0.6

適用

録画間隔

5 プリイベント時間 10

ポストイベント時間 10

録画領域の設定

6 シングルイベント マルチイベント

イベント領域 (%) 20

7 **オーディオ** 無 有

警告音設定 無 有

閉じる

5 録画間隔

イベント発生時の前後の録画時間を秒単位で設定します。プリイベント時間とはイベント発生時の前で、ポストイベント時間とは、イベント発生時の後の時間になります。

設定可能秒数	プリイベント	ポストイベント
	0~10秒 ^{※注}	10~30秒

※注:MEGAの場合0~5秒

6 録画領域の設定

シングルイベント・マルチイベントの2種類があり、一方を選択できます。

シングルイベント

電源がついても録画は開始されず、イベントが発生したり、セーブスイッチを押した時のみ録画します。

マルチイベント

電源が入れば録画が開始します。(常時録画)、イベントが発生したり、セーブスイッチを押した時は、別ファイルとして録画します。

イベント領域とは、SDカードに記録できるイベント動画の保存領域になります。例えば同梱SDカード(1GB)で設定が20の場合…約200MBがイベント動画の保存領域となります。残りの約800MBが、上書き記録できる領域となります。イベント記録された動画は上書きされないようになります。設定可能数値【20~50】※直接数値を入力してください。

7 オーディオ・警告音設定

音声同時記録をしない【無】か音声同時記録を行う【有】の2種類があり、どちらか一方を選択できます。

警告音(ビープ音)【無】か警告音(ビープ音)【有】の2種類があり、どちらか一方を選択できます。

設定が終わりましたら、適用ボタンを押し、閉じてください。

使用時の注意事項

ユーザーの安全を守り、製品を正しく使用するための内容です。



- 化学薬品や洗剤などは製品の表面を変質させ、内部の機器を腐食させる可能性があります。絶対には使用しないでください。
- 製品のレンズ前で異物質またはステッカーなどが視野をさえぎる場合、正常に作動ができませんので、装置の前面部を清潔な状態にするよう常に注意してください。また周囲に他の物が置かれた場合も、窓に反射して見えることがありますので、設置した製品の周囲には他の物を置かないようにしてください。
- 最初に設置したときに正常に作動したとしても、位置が変われば正しく作動しないため、設置するときは、しっかりと固定し、設置後は無理な力を加えて装置を動かしたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
- 長期間にわたり地下駐車場に車両を駐車した場合や、非舗装道路の走行などにより激しい振動にさらされた場合、装置の位置変更による誤作動発生の可能性があります。平坦な道路の停止状態で、初期設定と同じ本来の位置に戻してください。
- 運転中に製品を操作する行為は、事故の危険が伴いますので、特にご注意ください。
- 本製品は、カメラを利用する装置のため、トンネルの出入り口のように急激に明るさが変化する時、昼間の逆光が非常に強い時、または夜中に光源が全くない極端な場合に録画した映像が不良となる恐れがあります。
- 一定加速度の衝撃以下での事故では、本製品にデータが記録されない場合もありますので、留意してください。この場合、緊急ボタンを利用して手動で記録が可能です。
- 大事故によって装置の電源が切れた場合、映像データが記録されないこともあります。
- 無線機の設置してある車両にDRS1100を接続すると、ノイズが入る場合があります。無線機と併用される場合は販売代理店にご相談の上、検証を行うことをお勧めいたします。
- 炎天下での長時間の駐車時など、設置する温度環境により本体が60度以上になることが予想される場合は、ウィンドウから取り外してください。故障の原因になる場合があります。
- フロントガラスにDRS1100を取り付けた状態で車検が受けられません。車検時にはお取り外しください。



- 水をかけないでください。製品の故障を誘発する可能性があり、火災や感電を引き起こす可能性もあります。
- 本製品の電源をつなぐときには、必ず同封のケーブルを使用して製品の取扱説明書で指示したとおり車両の電源につないでください。同封のケーブル以外のケーブルを使用したり、ケーブルを他の電源につなげたりすると、故障や火災の原因となる可能性があります。



- 無理な力、または衝撃や飲み物、その他異物質の注入は故障の原因となりますので注意してください。
- 過度の衝撃と湿気、塩分が触れないように注意してください。製品の装着後、圧力または衝撃を加えると、位置がずれて誤作動を引き起こす可能性があります。
- GPSの円滑な受信のために製品装着時にGPS受信部を水平にし、GPS受信部の上に受信を妨げる物や電子製品を置かないようにしてください。



- 絶対に分離、修理、改造しないでください。この場合、アフターサービスを受けられません。

仕様

■ドライブレコーダー本体 DRS1100

外形寸法	W:50×D:130×H:35 (mm)	録画フレーム数	1~30コマ/秒
質量	110g	録画保存	セーブスイッチを押した時点からの前後を記録保存
GPS	高感度型GPS内蔵	センサー検出	衝突、急発進、急ブレーキ、急ハンドル、セーブスイッチ
カメラ画角	水平120° 垂直90° 対角156°	警告案内	ショックセンサー作動時の警告音(ピープ音)
3次元センサー	0.1G~3G可変可能	配線方法	シガーソケット(DC12V、24V) ※接続できない外国車種もあります。
記録時間	初期設定(5コマ/秒、VGAモード、SDメモリーカード1GB)で約4時間程度(イベント領域20%設定時)	取付方法	フロントガラスに吸盤付スタンド(Sタイプ)で装着 ※別売の吸盤付スタンド(Lタイプ)もあります。
記録媒体	SDメモリーカード1GB(標準装備)※最大2GBまで	電源電圧	DC12V~24V
記録データ	年月日、時刻、位置(緯度・経度・高度)、車速、横G、前後G、上下G	消費電力	2W
録画解像度	QVGA(320×240)、VGA(640×480)、MEGA-VGA(1280×960)約130万画素	動作環境	-10℃~+60℃

■パソコン動作環境

使用ソフト	X-Drivenプログラム(本体内蔵)	HDD	インストールに約1.3MB以上必要 ※その他、保存しておくデータの空き容量が必要
対応OS	Microsoft® Windows® 2000/XP/Vista 日本版	ディスプレイ	1024×768ピクセル以上/32bit Colorが再生可能なこと
CPU	Intel®Pentium®4 1.3GHz以上を推奨		
メモリ	512MB以上を推奨		

GPSについての理解

商用のGPSは、平均15メートル以上の距離誤差があります。また、ビルの横、地下車道、高架道路、街路樹などでは、100メートル以上の距離誤差が発生することが考えられます。衛星受信に多くの時間がかかることもあります。自動車のエンジンをかけたら、初期にGPS衛星を受信するまで一定の時間が必要であり、天気や周辺状況によっても異なります。電磁波を発生する製品や類似GPSを利用する製品とともに使用しないでください。それらによって本製品のGPS受信性能が低下する影響があるため、ご注意ください。本製品は、GPS衛星の位置データの誤差によって、道路の形態及び現在の位置が正常に表示されないこともあります。次のような道路の形態では、現位置の表示が正常に動作しないこともあります。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 道路構造が近接して並んでいる場合 | <input type="checkbox"/> 山の中で屈曲が激しい道路を走行するとき |
| <input type="checkbox"/> 分かれ道の角度が小さい場合 | <input type="checkbox"/> 自動車が駐車時に回転板によって回転するとき |
| <input type="checkbox"/> 回転時に近接した道路が平行してある場合 | <input type="checkbox"/> 雪道や雨道を走行時 |
| <input type="checkbox"/> フェリー航路上 | <input type="checkbox"/> 地図データにない道路を走行した後、大通りに進入時 |
| <input type="checkbox"/> 急激な角度で曲がる道路で | <input type="checkbox"/> 高層ビルの谷間を走行時 |

保証規定

- 1.この製品は、当社の万全な品質管理のもと、厳密な製品検査に合格したものです。「取扱説明書」に従ったお客さまの正常なご使用状態で万一故障した場合は、修理いたします。
- 2.この保証書はこの度お買い上げいただきました「DRS1100」の本体を保証するものです。
- 3.保証期間は、お買い上げの日より1年とします。
- 4.正常な使用のもとで万一発生した故障については保証期間中、無償修理いたします。
- 5.不当な修理や改造による故障および損傷は保証対象外とします。
- 6.録画映像されたデータは保証対象外とします。
- 7.この保証書は日本国内で使用される場合にだけ有効です。

有償修理について

- 1.塩害、ガス害、水没、異常電圧及び天変地異などによる故障及び損傷。
- 2.お客様ご自身の過失による故障。
- 3.本保証書の紛失、またはご提示がない場合。

ご注意

- 1.本保証書は保証規定により無償修理をお約束するもので、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書のお取扱いについてのご注意

- 1.保証書はお買い上げの際、「ご購入年月日」「ご購入者住所及び氏名」「電話番号」欄をご記入ください。
- 2.本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせについて

- 1.修理のお申し付け、使用方法のお問い合わせなどは、お買い上げ店または当社コールセンターへお願いいたします。
- 2.修理時の運送費用はお客様のご負担にてお願いいたします。

*本製品のハードウェア、ソフトウェアのデータについてのすべての権利は、メーカーが保有しております。その無断コピー、加工または配布時には民事上の損害賠償はもちろん、知的財産権保護管理法律に基づいて刑事処罰を受けることがあります。

アフターサービスの お問い合わせ

修理のお申し付け、使用方法のお問い合わせなどは、お買い上げ店または弊社コールセンターへお願いいたします。

『よくあるご質問とその回答』については

http://www.cosmo-sys.co.jp/drs/drs_info_support.htmlのサポートをご覧ください。

コスモシステムコールセンター
0120-852-582

〈受付時間〉
土日祝祭日、年末、年始を除く9:00～12:00 13:00～18:00
〒113-0034東京都文京区湯島三丁目24-13東京家具会館



コスモシステム株式会社